



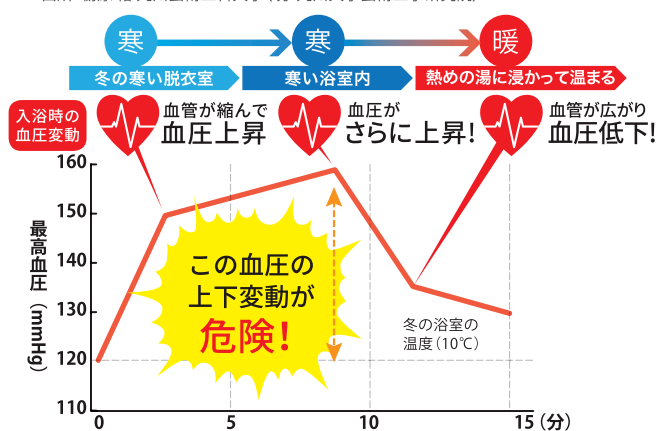
テーマ

その温度差が命とり！ 知って防ごうヒートショック



血圧の変化のイメージ

※出所：栃原 裕 九州芸術工科大学（現：九州大学芸術工学研究院）



部屋間の温度差は健康リスク大

\\ 今なら //

補助金活用でお得に窓リフォーム！

詳しくは
裏面へ

「ヒートショック」とは暖かい部屋と寒い部屋との温度差による急激な血圧変動が原因で、心筋梗塞や脳卒中を引き起こす健康リスクのことです。室温が急に下がると、血管が縮み血圧が上がり、逆に室温が上がると血管が広がり血圧が下がります。「リビングと浴室」「寝室と廊下」など、温度差が大きくなりやすい場所を行き来する際にヒートショックのリスクが高まりますので、注意が必要です。

ヒートショック関連で入浴中に亡くなられる方は、交通事故のなんと4倍



※1 2013年度ヒートショックに関連した入浴中急死に至った人数推計 約19,000人と、2013年度の交通事故による死亡者数 約4,400人の比 ※2 出典：厚生労働科学研究費補助金 入浴関連事故の実態把握及び予防対策に関する研究平成25年度総括・分担研究報告書より ※3 出典：警察庁交通局調べ

浴室やトイレは北側に設置されていることも多く、冬場の冷え込みによるヒートショックが起きやすいといわれています。特に、ヒートショック関連で入浴中に亡くなられる方は年間約19,000人もいると推計され、交通事故死亡者数の約4倍強にものぼります。ヒートショックは部屋間に温度差があることが原因のため、窓の断熱などでヒートショックのリスクを未然に抑えることが肝心です。

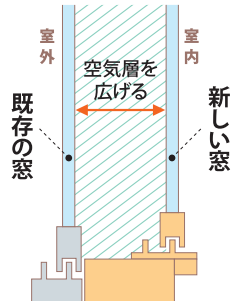
おすすめ対策は裏面へ！

窓の断熱で部屋間の温度差を軽減

ヒートショック対策は、リビングなどの暖かい部屋と、脱衣室、浴室、寝室などの温度差をなくすることが第一。

窓の断熱性能を高める 二重窓＜インプラス＞

実は、冬場窓など開口部から58%も熱が逃げてしまっています。脱衣室や浴室、トイレや寝室の窓を二重窓にすることで、断熱性がアップします。外の冷気が室内に伝わりにくくなり、すきま風や冷えが軽減されます。



手軽な ヒートショック対策

断熱性が低いままではいくら部屋を暖めても熱が逃げてしまいます。断熱対策をした上で、浴室なら換気乾燥暖房機を取付けたり、入浴前に浴室をシャワーで温めたりするのも効果的です。暖房が置ける部屋は小さな暖房を設置するのもいいでしょう。部屋間の温度差による血圧の上下動を軽減することが重要です。



脱衣室や浴室の簡単窓リフォームはこちら！



断熱内窓（二重窓）インプラス

脱衣室の小窓や浴室の窓におすすめ。今ある窓の内側に新しい窓を取付けるだけ。

1窓最短1時間のスピード施工で断熱性がアップして、結露も軽減します。

1窓あたり
約1時間～

比べて納得！断熱効果

断熱窓をつけた効果を
シミュレーション動画でチェック▶



取替窓 リプラス 専用枠 浴室仕様

窓のすきま風や寒さの悩みも、浴室のリフォームと一緒に古い窓も取り替えリフレッシュ。ブラインドイン複層ガラスやフロスト複層ガラスなど外からの視線をカットするガラスもおすすめ。

1窓あたり
約半日～

今なら 補助金がもらえてお得！

超大型補助金
※1
50%最大
※2
窓なら
今だけ！
相当還元

予算が無くなり次第終了！

ご相談はお早目に！

※1 住宅エコポイント制度、復興支援・住宅エコポイント制度、省エネ住宅ポイント制度、次世代住宅ポイント制度、グリーン住宅ポイント制度、こどもみらい住宅支援事業、住宅省エネ2023キャンペーン、住宅省エネ2024キャンペーンの予算規模と比較して、ほぼ同等もしくはそれ以上の規模であるという趣旨です。

※2 制度の適用には条件があります。



動画で
わかりやすく

お問い合わせはお気軽にどうぞ！